

1 単元名 「わくわくランド」であそぼう

2 授業構成

(1) 教師と教材

本単元は、新学習指導要領の次の内容に位置づけられている。

(6) 身近な自然を利用したり身近にあるものを使ったりなどして、遊びや遊びに使うものを工夫してつくり、そのおもしろさや自然の不思議さに気づき、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

(8) 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかわるくわりの楽しさがわかり、進んで交流することができるようにする。

本単元では、身近にあるものを使って遊びに使うものを工夫してつくり、みんなで遊びを楽しむことをねらいとしている。既存のものや与えられたもので遊ぶことの多い子どもたちにとって、自分たちで考え、工夫して作る活動は子どもたちの生活をさらに豊かにしていくと考えた。また、5月に交流した年長児を招待し、自分たちの作ったものを使った遊びを通して交流する。1年生にとって交流は、相手を思いやることや協力することの大切さ、心を通い合わせることの楽しさを実感できる貴重な体験となるはずである。自分たちで交流会を計画・実行し、友達とともにみんなが楽しめるわくわくランドにしていく活動の中で、一つのことをやり遂げる達成感や喜んでもらったという満足感を得ることができるだろう。そして、自分のよさや成長にも気づくことができると思う。

本時は、子どもたちが計画し準備してきたわくわくランドで年長児との交流会を行う。その中で、子どもたち同士のかかわり合いやいろいろな遊びを楽しむ姿を大切にしていきたい。活動時間を60分間とし、子どもたち一人一人が交流を通して楽しかった、役割を果たすことができたという満足感が持てるようにしたい。

(2) 子どもと教師

本校の生活科では、「自分づくりの力」「かかわる力」を育てたい力として学習活動に取り組んでいる。特に、「自分なりの課題を見つけ、主体的にかかわろうとする力」「かかわりの中から気づきを広げ、深めようとする力」さらに「自己の願いや思いを豊かにし、生活に生かす力」を育てたいと考えている。

本学級の児童は、これまで附属幼稚園の年長児とペアを組み、5月に運動公園の遊具で遊ぶなどして交流を行った。いっしょに遊ぶ中でお互いの思いを伝え合い、かかわろうとする姿が見られた。今回が2回目の交流となるが、本格的に招待するのは初めてのことである。今まで保育園や幼稚園で様々な製作活動やごっこ遊びなどをしてきており、その経験をもとに自分たちでアイデアを出し合い、手作りのわくわくランドをつくっていく。そして、かかわりの中から、みんなが協力をし工夫すれば、もっと楽しくなることに気づいて欲しい。また、自分が楽しいだけでなく、年長児にももっと喜んでもらいたいという気持ちを大切に、活動を進めていきたい。そのために、ペアやグループ活動を取り入れ、自分の思いを伝え、話し合いながら工夫や努力を積み重ねていくことができるようにしていきたい。

(3) 子どもと教材

本時の活動では、子どもたちが準備してきたお店で年長児と一緒に楽しく遊びながら交流をする。今回のペアは、前回5月に行った交流会のペアとはちがうため、初めての出会いとなり緊張する子どももいると思われる。そこで、はじめの会で歌や簡単な自己紹介を取り入れることで、気持ちをほぐしていきたい。お店の紹介をする場面では、相手意識を持つことが大切である。年長児にもわかりやすく、行ってみたいと思うような工夫をさせていきたい。前半と後半に分け、お店番とお客さんの役を交代しながら行っていく。これまでの活動において、自分たちが楽しいだけでなく、もっと楽しんでもらうためにはどんな説明の仕方やコーナーのセッティングの仕方が良いのかなどを子どもたちなりに考えてきた。また、活動の中で子どもたちは、わかりや

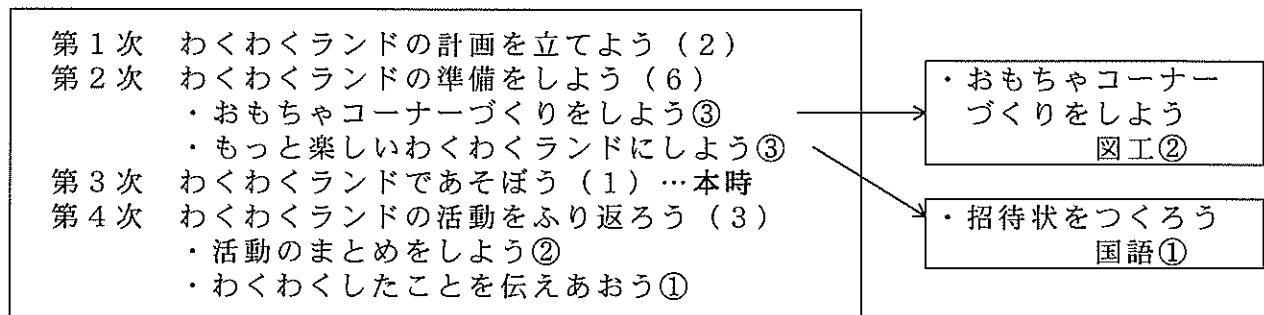
すく遊び方を説明したり，うまくできたときには一緒に喜んだりすると，年長児が楽しく遊べることに気づいてきた。これらの気づきをクラスに広げ，思いを高めてきたことを生かして楽しい活動となるように声をかけていきたい。また，ペアの年長児と一緒に実際に遊びを体験したり，お店番をしたりしながら，もっとこうしてみたいという思いが出てきた場合は，その場で相談し，さらに楽しい活動となるように支援していきたい。それぞれの思いやアドバイスをペア同士や各グループで交流し共有することで，新たな気づきやアイデアを生み，人とのかかわることの楽しさへつながっていくと考えるからである。

活動中，思いがグループの友達に受け入れられなかったり，自分の考えが持てなかったりしてうまくまとまって活動できないグループには，お互いの思いを聞き合いながら，話し合いをさせ，協力し合うよう促していきたい。教師自身も一緒に活動の中に入り，子どもたちの発想を尊重しながらがんばりをしっかりとほめたい。また，疑問に思うことは子どもたちに問いかけ，どうすればよいのか考え直すような声かけをし，活動を支援していきたい。そして，活動の最後には年長児に喜んでもらったという達成感や成就感を味わわせたい。

3 単元目標

- 身のまわりのものに関心を持ち，計画や製作に進んでかかわり，年長児と楽しく交流をしようとしている。〔生活への関心・意欲・態度〕
- 「わくわくランド」を成功させるために，遊びを工夫し，自分なりの思いや願いをもって活動したことを表現することができる。〔活動や体験についての思考・表現〕
- 友達と協力して「わくわくランド」を創り上げていくことの大切さ，そこでの友達や自分のよさやがんばりに気づくことができる。〔身近な環境や自分自身への気づき〕

4 学習計画（全12時間）



5 本時の学習について

（1）本時の目標（小学校）

自分の思いを伝えたり相手の思いを聞いたりしながら，進んで年長児や友達とかかわり，「わくわくランド」でみんなと楽しく遊ぶことができる。

本時のねらい（幼稚園）

- 1年生に遊び方やルールを教わったり，自分なりのやり方で遊びに参加したりして，一緒に遊びを楽しもうとする。
- 簡単なルールのある遊びやごっこ遊びの楽しさ，自分なりに工夫して作る遊びの楽しさを感じる。

（2）期待される児童の様相

- A 進んで年長児や友達とかかわる中で，自分の思いを伝えたり，相手の思いを聞いたりしながらさらに楽しく遊ぶよう工夫することができる。
- B 年長児や友達とかかわる中で，自分の思いを伝えたり，相手の思いを聞いたりしながら楽しく遊ぶことができる。
- C 年長児や友達とかかわる中で，楽しく遊ぶことができる。

(3) 本時の展開 (○教師の意図) ◆全体への支援・援助 ◆個への支援・援助

学習活動	年長児に対する教師の援助・意図	1年生に対する教師の支援・意図
1. はじめの会をする。 ○歌・自己紹介 ○あいさつ ○各グループの遊びについての説明 ○遊びの約束	○グループ別にペアと一緒に並び、はじめの会で歌ったり、一緒に歌を歌ったり、1年生の遊びの説明を聞いたりし、楽しい雰囲気を作る。 ◆緊張感や不安な気持ちをもっている子どもには、ペアの友だちと話しやすい雰囲気を作ったり、遊びに見通しができるようにやりにやりに遊びについて話をしたりし安心して活動に入れるようにする。	◇はじめの会の司会進行は1年生が行う。緊張している年長児もいると思われれるので、1年生が声をかけ、やさしくリードしていきけるようにする。 ◆遊びについての説明をする児童には、お客さんにはいっばい来てもらえよう、年長児にもわかりやすく説明できるようにしておく。
わ く わ く ラ ン ド で い っ し よ に あ そ ぼ う		
2. 前半と後半に分かれて、「わくわくランド」で一緒に遊ぶ。 ●たまいれ ●しんぶんし・おりがみこうさく ●ぼろりんぐ ●まにあて ●おかしやさん ●めいろ	○最初に店番をする人と遊びに行く人に分かれ、ペアと一緒に行動する。 ◇教師も一緒に遊ぶ中で、子どものつぶやきや気づきなどにかかわる楽しさを共有したり、遊びや友だちから、遊びを決めたり進めたりする過程を大切に、見守る。教師が仲介したり一緒に考えたりする。 ◇交流に向けて幼稚園で考えてきたことを伝えたり、作ったものを遊びに取り入れたりするきつなげ、意欲を高めるようにする。 ◇子どものイメージが実現できるように材料を十分に準備しておく。 ◆製作や簡単なルールのある遊びでは、自分で試行錯誤する姿や、1年生と年長児が互いに教え合う姿を認め、もつとこ遊び（お店やさんごっこ）では、客になることやこりをり（お店やさんごっこ）では、客になるようにする。そして、店員になりきって遊ぶ姿を大切に、遊びのイメージが膨らむような言葉をかけ、より楽しめるようにする。 ◆思いが言えない子どもや何をしたらよいかかわからない子どもには、自分は何がしたいのかをたずねたり、	◇ペアの年長児と一緒にどこのお店に遊びに行くか相談しながら遊ぶようにする。年長児にどこのお店に行きたいか聞いたり、自分が遊んでみて楽しかったおすすめのお店に連れて行ってあげたりするなど、進んでかかわることができているか見守る。 ◇子どもたち一人一人の交流会でのめあてを把握しておくことで、がんばりややかかわりのよさを認め、意欲を高めるようにする。 ◇年長児や友達にこのつを教えたり、一緒に楽しく製作したりしている児童を紹介し、進んで年長児や友達とかかわっていきこうとする意欲がもてるようにする。 ◆店番をする児童には、お客さんにわかりやすく話しながらできているか、楽しい雰囲気できているかなどを見ながら声をかける。(C→B) ◆年長児が考えた工夫やアイデアがあるようならば、それを生かしてさらに楽しいお店にするよう声をかけていく。年長児の思いを聞いたり、話し合ったりする姿を大切にしていける。(B→A) ◇教師は、工夫や発展ばかりをほめるのではなく、友達と楽しく遊んでいる活動の輪の中に入り、児童のかかわりのよさを表情、対話、動きから見取っていく。 ◆うまくペアの年長児や友達とかかわれない児童には、声をかけ役割を確認させたい。店番の時は、グループ

1年生に伝えてみるよう声をかけたりし、活動に入るきかけをつくるようにする。 ◇今まで経験したことのない遊びや1年生のアイディアに触れることで、幼稚園での遊びを広げる一つのきっかけとした。 ◇進んで片づけたり、丁寧に片づけたりしている子どもを褒め、意欲的に片づけられるようにする。また、片づけが終わっていない場所を伝え、最後まで力を合わせて片づけができるよう言葉をかける。 ◆何をしたらよいかかわらない子どもや、片づけの途中で気持ちを途切れた子どもには個別に声をかけ、具体的な片づけ方法を伝える。	のリーダーにも声をかけ、協力しながら進めるように促す。(D→C) ◇グループの友達とついしよに声をかけ合い、見通しを持って片づけができるよう、道具の置き場所を予め伝えておく。
4. 片づけをする。	◇各グループごとに集まり、班長を中心に感想を発表したりし、みんなで楽しく遊べた満足感を持って終わらせた。
5. おわりの会をする。 ○感想を発表する。 ・年長さんに喜んでもらってうれしかったよ。 ・まとあてに当たってうれしかったよ。 ・いろんなものを作って楽しかったよ。	◇子どもたちの話を共感的に受け止めながら聞き、交流や遊びの楽しさを共有するとともに、安心して自分の思いが伝えられるような雰囲気をつくっていく。 ◇年長児や1年生の話を一生懸命聞こうとする姿を認め、思いが伝えられなくても、友だちの思いを知ったり、楽しさを共有したりする場として大切にしたい。 ◆緊張している感じがなきない子どもには、言葉を自分で思いが伝えられながら、思いが周りの子どもたちに伝わるようにする。
○あいさつ ○幼稚園の先生のお話	◇1年生のあいさつや先生の話を聞き、今日の交流会をふり返って、改めて自分や友達のよさに気づけるようにしたい。また、次の交流への期待感をもって終われるようにする。

5 歳児 （・子どもの活動 *子どもの思い）	1 年生
<u>ごっこあそびをしようよ</u> ・草花を使って、花屋やレストランごっこをする。 ・花紙、色紙、紙テープ、スズランテープ、空き容器などを使い、アイスクリーム屋、花屋、寿司屋などを開く。 ・観客席を作り、絵本の読み聞かせなどをします。 ・異年齢や同年齢の友達をお客さんとして誘いに行ったり、売りに行ったります。 *友達と一緒にごっこ遊びをするのが楽しいな。 *自分が作ったものが売れたり、店にお客さんが来たりすることがうれしいな。 *店にもっとたくさんお客さんが来て欲しいな。 *わたしはお客さんになりたいな。 <u>つくったりかいたりしてあそぼうよ</u> ・絵の具で自分が描きたいものを描いたり、色を重ねて変化していく様子を楽しんだりする。 ・空き容器を組み合わせて乗り物やロボットを作り、それを使って遊ぶ。 ・折り紙の本を見たり友達同士で教え合ったりして、色紙を折る。 *友達がいじめていることが楽しそうだな。自分もしてみたいな。 *ここがすごいでしょ。 *もっと描いたり作ったりしたいな。 *こんな材料があったらいいな。 <u>からだをうごかしてあそぼう</u> ・短縄・長縄を使って、少し難しい技にも挑戦する。 ・雲底や鉄棒を使って力試しをする。 ・おにごっこ遊び、リレー遊び、サッカー遊びなど、少し多い人数で簡単なルールを決めながら遊ぶ。 *思いっきり身体を動かすことが楽しいな。 *自分が頑張っていることができてうれしいな。 *友達と一緒にかわりながら遊ぶことが楽しいね。 *もっといろいろな技に挑戦をしたいな。	<u>わくわくランドであそぼう⑫</u> <u>わくわくランドの計画を立てよう②</u> ・どんなお店にするか話し合う。 *こんなお店が作りたいな。 *年長さんが喜んでくれるお店はどんなお店かな。 *本で調べてみよう。 <u>わくわくランドの準備をしよう⑥</u> ・おもちゃコーナーづくりをする。 *みんなで楽しいお店にしよう。 *うまくできたかな。ためしにやってみよう。 *どうしたら上手くできるかな。 図工② おもちゃコーナーづくり ・わくわくランドのリハースルをする。 ・もっと楽しいわくわくランドにするためには、どうしたらいいのか話し合う。 ・さらに楽しくなるように工夫する。 *こんなものを準備するのいいな。 *こうするともっと楽しくなるよ。 *もっとわかりやすく説明したいな。 国語① 招待状を作ろう
<u>ようちえんでもやってみよう</u> ・めいろやボウリングを作って遊ぶ。 ・異年齢の友達を呼んで、経験した遊びに付け加えたり変えたりして遊ぶ。	<u>わくわくランドでいっしょにあそぼう①（本時）</u> <u>わくわくランドの活動をふり返ろう③</u> ・活動のまとめをする。 ・わくわくしたことを伝え合う。 *年長さんが喜んでくれて嬉しかったよ。